

分析分科会平成 24 年度第 1 回運営委員会 議事メモ

2012 年 4 月 19 日(木) 開場:13 時～ 運営委員会:13 時 30 分～15 時 30 分

東京八重洲ホール 4F

出席者(順不同・敬称略)

委員長:衣笠晋一(産総研)

委員:門家重治(愛媛)、永田正典[永岡氏代理](熊本)、杉内重夫(福島)、林英男(東京)、大橋芳明(名古屋)、工藤素(秋田)、坂尾昇治(神奈川)

産総研側委員・事務局 福本夏生、一石節子、伊藤信靖

(1) プログラム

本日の議事次第について衣笠委員長より説明があった。

(2) 運営委員名簿

運営委員名簿の変更点について衣笠委員長より簡単な説明の後、各委員が自己紹介した。

(3) 年間日程

年間予定表について衣笠委員長より説明があった。昨年と同様、共同分析は 6-8 月に行い、10 月中旬にデータ集計。12 月は、3 分科会合同で開催する事の確認。

門家氏(愛媛):データチェックは一人で行うのか? 引継ぎ資料はもらったので、一応内容は理解したが、具体的なことがわからない。

大橋氏(名古屋):会長県には、報告資料作成時に問い合わせが多い。

衣笠委員長(産総研):10 月中旬にはデータはまとまっているのか?

大橋氏(名古屋):ある程度まとまっているはず。

(4) 会計報告

衣笠委員長により説明が行われた。予算については全て産総研が負担するが、各委員にも知っておいてもらうということで。

一石氏(産総研):昨年は予算が少なく、資料が作れなかった。今年は資料印刷代も計上した。

衣笠委員長(産総研):産総研としては計測分科会と合わせて予算要求している。今年度は例年通り。しかしながら、計測分科会では PDF で配布するとのこと。分析分科会も計測分科会と同様に PDF にするかも知れない。予算を切り詰めてでも、ハードコピーを作成する方向で考えている。これまでのハードコピーは、それぞれの公設試がまとめて保管し、活用していると思う。このため、出来るだけフローチャートを減らして総ページ数を減らしたい。フローチャートは二段組にしやすいフォーマットを送る事で対応できないか?

福本氏(産総研):出来ると思う。

衣笠委員長(産総研):一昨年までは、次回開催県を呼ぶことができたが、今回はできなさそう。大丈夫か?

林氏(東京):何とかなると思う。前はどのようにしたのか? 何らかの話をすると思うが。

杉内氏(福島):去年は所長が行けなかった。お金の問題ではなく、日程的に。

衣笠委員長(産総研):次回開催県には、交流会での挨拶をお願いしたい。

林氏(東京):どの位の立場の人が行くのか?

一石氏(産総研):所長とか理事長とか。

林氏(東京):理事長に聞いてみる。

(5) 年会について

杉内氏(福島)より、年会開催資料について説明があった。

- ・ 第2回運営委員会は決まっていないが、第3回運営委員会は12/5の16時から開催する。
- ・ 見学先はトーアエイヨー(製薬会社)で、既に了解を得ている。年会会場からバスで30分程度。
- ・ 年会に際してハイテクプラザから準備するものはスクリーン3台で、前日に運び込む予定。
- ・ 特別講演者は未定。
- ・ 12月のホテル状況はわからないが、最近是最福島県内で会議をやることも多いらしい。
- ・ 福島空港は不便なので、新幹線での来場を勧めたい。

衣笠委員長(産総研):ホテルは早めに取りるように注意喚起はした方が良いか?

杉内氏(福島):良いと思う。

一石氏(産総研):9月の案内に入れば大丈夫か?

杉内氏(福島):大丈夫だと思う。

衣笠委員長(産総研):特別講演候補者は全く決まっていないのか? 決めるとしたらいつまでに決めれば良いのか?

一石氏(産総研):8月上旬くらい。

杉内氏(福島):現在のところは、全く決まっていない。

衣笠委員長(産総研):毎年、全く分野が違う人に講演してもらっている気がする。

坂尾:福島大学に、放射線計測を震災直後から測っている先生がいたと思う。

杉内氏(福島):あたってみる。

衣笠委員長(産総研):放射線は思っているよりも減っていると聞いたが?

杉内氏(福島):雪が降った影響もある。雪で遮られるので。

大橋氏(名古屋):福島の地場産業は?

杉内氏(福島):日本酒とか。そちらでも考えてみる。

衣笠委員長(産総研):見学終了の15時は、駅に帰ってくる時間?

杉内氏(福島):トーアエイヨーを出る時間。

衣笠委員長(産総研):愛媛や熊本へ帰る最終は何時ごろか?

門家氏(愛媛)、永田氏(熊本):19時台だと思う。

衣笠委員長(産総研):そうすると、羽田まで帰ってくる時間を考えると、少しスケジュールを早める方向で調整できないか?

杉内氏(福島):福島駅を15時着にすれば良いのか? もともと見学にそれほど時間もかからないと思

う。15 時 42 分に福島駅発の新幹線に乗れば大丈夫だと思う。30 分くらい前倒しする方向で調整する。

衣笠委員長(産総研):地質分科会の参加者には見学には行かないという認識で良いのか?

一石氏(産総研):一応、希望すれば受け付けるつもり。人数制限はするが。去年もやっていた。調整はできるだけ内部の人間で行う。

分析分科会のプログラムについて、衣笠委員長(産総研)より説明があった。スケジュールは例年通りで、石丸分科会長と藤本副部門長の挨拶はそれぞれ 5 分程度で。杉内氏(福島)が概略、門家氏(愛媛)が解析結果、大橋氏(名古屋)が解説、福本氏(産総研)が z スコアの説明をする方向で。

衣笠委員長(産総研):検討会でナノ粒子計測を提案したい。粒径は 100nm くらいで。その理由としては、化審法など世界的にも規制する方向になっているため。産総研としても力を入れているし、その一翼を公設試にも担って欲しい。試料形態としては分散液だと思うが、産総研側の担当者の都合による。

林氏(東京):均一なのか? 標準物質とかがあれば良いが。

衣笠委員長(産総研):粒径が単一な試料を準備するのは難しい。ヒストグラムでも良いと思う。これまでの報告よりも一步踏み込んで、ヒストグラムとして報告してもらっても良いと思う。ただ、供給中の標準物質は数量が少なく提供できないが、同等のものを提供することは検討してみる。

衣笠委員長(産総研):分科会年会と交流会との間はなぜ 1 時間空いているのか?

杉内氏(福島):他の分科会が年会を行っている会場をそのまま交流会にも使うので、そのための準備の時間。

林氏(東京):18-8 ステンレスは共同分析試料としてはどうか? 最近では貴金属価格の高騰もあり、かなりシビアな分析が求められる。

杉内氏(福島):取引にも関係するので、かなり気を使う。

林氏(東京):JIS に下回っても良いという記述もあるが、るつぼで作るし、均一性の問題もある。

坂尾氏(神奈川):分析精度を上げるために、滴定をやってる。ICP は精度が良くないので。

林氏(東京):最近の ICP はそれなりの精度が出る。

坂尾氏(神奈川):共同分析の試料としては面白いかもしれないが、その結果は外には出せないかも。結果がばらつくのは良いが、8%を切るところに平均値があるのはまずい。均質性も十分に評価しないと。

林氏(東京):JFE スチールが標準物質の原料を作っているので、JFE スチールに相談したらどうか。

衣笠委員長(産総研):試料調製代が最大 50 万円というのは満たせるか?

坂尾氏(神奈川):標準品でもそれほど高くは無いので、原料費はそれほどかからないと思う。

大橋氏(名古屋):規格外のものがあれば良いのだが。

(6) 共同分析試料について

共同分析試料について、杉内氏(福島)より説明があった。試料はアルミニウム合金(A2014)の押し出し棒。試料は昭和電工(株)から提供してもらい、試料調製は(株)環境総合テクノスにもらった。

Si と Ti については、蛍光 X 線分析による均質性の結果が芳しくないので、福島ハイテクプラザで湿式分析することを検討している旨の説明があった。

福本氏(産総研): Si はピーク分離ができていないし、Ti は強度不足だから、仕方ない。

杉内氏(福島): Ti は意図的に入れているらしい。Zn は不純物として入っているらしいが、今回は検出できなかったようだ。

衣笠委員長(産総研): 昭和電工(株)には分析結果を報告するのか？

杉内氏(福島): 一応、報告することになっている。また、(福島ハイテクプラザが)分析の際の問い合わせ先になると言われているが、どのようなことを聞かれるのか？ リモナイトではないので、分析自体は難しくないと思うが。それから、湿式分析は、環境総合テクノス(株)が均質性評価したサンプルをやるのか？

衣笠委員長(産総研): 均質性評価に使ったサンプルはどうなったのか。

福本氏(産総研): 納品されていないと思う。

衣笠委員長(産総研): 一石さんから環境総合テクノス(株)に問合せみて欲しい。

衣笠委員長(産総研): 結果報告用のデータシートは、例年通りで良いのか。

福本氏(産総研): “Ig loss”の項目は不要かもしれない。

門家氏(愛媛): 山梨県の三上氏から、データシートは半角で入力してほしいと言っているのに、全角で入れてくる人がいるらしい。それを修正するだけでもだいぶ時間がかかるようなので、データシート上で強制するようにはできないか？

福本氏(産総研): やる方向で検討する。

衣笠委員長(産総研): プルダウンにしてはどうか？

林氏(東京): “m/e”の表記は“m/z”の方が良い。

福本氏(産総研): それらを含めてデータシートを改良して、メーリングリストで流す。

衣笠委員長(産総研): z スコアもやる方向で良いのか？

福本氏(産総研): やる方向で考えている。

(7) その他について

林氏(東京): 開催時の見学は、工場でなければならないのか？ 都産研の見学でも良ければ、一般見学コースで 2 時間くらい。工場見学にすると、多摩方面まで行かなければならないので、移動等が大変になりそう。可能ならば、見学は都産研にしたい。

衣笠委員長(産総研): 都産研の見学でも構わないともう。

林氏(東京): 来年も計測分科会との合同なのか？

一石氏(産総研): 計測分科会側は合同でやるつもりらしい。

林氏(東京): 合同だと、スペース的に難しい。

福本氏(産総研): 産総研お台場サイトの会議室が使えるかもしれない。

以上